

## 第4章 大阪環状線（大阪＝大阪：内回り：反時計回り）

### 第1節 1日目：9月4日（土）：関西桜紫会イベント出席 晴れ

第290回のウォーキングは、平成22年9月4日（土）関西桜紫会の翌日、すなわち5日（日）晴れの中、大阪環状線に挑戦する。

9月4日（土）晴れ、次のダイヤで大阪駅前にあるホテルグランヴィア大阪まで移動する。実は昨日は第10回Rひやく会があり、やや二日酔いのコンディションにもかかわらず、4時半頃起床できる。楽しいイベントがあるときは何時に寝ても起きられるものである。

南林間 6:20 → 町田 6:30 （6時10分前に自宅を出る。）

町田 6:44 → 新横浜 7:06

新横浜 7:19 → 新大阪 9:36

（のぞみ203号14号車1番E席：13,730円）

新横浜駅で関西桜紫会出席の宇賀神さんと一緒となる。偶然にも同じ新幹線で同じ車両（彼女は3番A席）となる。互いに疲れ気味のためそれぞれ一人旅を楽しむ。新幹線の窓からの風景は何度見ても飽きない。旅の楽しみの他、東海道本線踏破実績が勇気と希望を与えてくれるからだ。本当に東海道本線踏破そして「こだわり鉄道つたい歩き／アクチュアリー東海道本線踏破」を自費出版でき大いに満足している。新大阪駅には9時36分到着。宇賀神さんとはここで一旦別れる。私は新大阪で途中下車し、本日宿泊予定の東横イン新大阪中央口本館に荷物を預かってもらう。1年半前の記憶が微かに蘇る。再度、新大阪駅に戻り、本日関西桜紫会の会場が大阪駅に向う。ホテルグランヴィア大阪がある1階には10時半頃到着。福家さんとJR線改札口前で偶然にもお会いする。本日の会場は20階名庭の間であった。



会場で大塚さん、斎木さん、藤澤さん、杉本さん、中村さん、山下君等とお会いする。昨年3月の東西交流会、昨年8月のわいわい会、本年7月のわいわい会を通じて親しくさせてもらったこともあり、熱い歓迎を受ける。私の食卓番号はIであった。同級生の山下君と20分程度久しぶりの旧交を温める。そして、会場に入り、会次第に基づき、総会・懇親会が盛大に行われる。本日の参加者は100名弱とのことであった。関東桜紫会から福家さん、谷本さん、佐藤さん、藤本さん、宇賀神さん、大胡さん、樫原の7名が参加。澤田文男高松一高校長から文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール（SSH：平成22年度～平成26年度の5年間）の指定を受けたとの熱いニュースあり。非常に嬉しい気分となる。

スーパーサイエンスハイスクールとは

将来の国際的な科学技術系人材を育成するため、先進的な理数教育を実施する高等学校等を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、学習指導要領によらないカリキュラム開発・実践や課題研究の推進、観察・実践等を通じた体験的・問題解決的な学習等を支援する。現在全国で125校が指定。〈予算規模：5年間で6,600万円〉

あっという間に3時間が過ぎ去る。そして閉会となる。



東横イン



新大阪駅

2次会は、ヤンカラでカラオケ大会。関西から斎木さん、山下君、正井さん、溝渕さん、伊藤さん、中村さんの6名参加。一方、関東からは福家さん、宇賀神さん、樫原の3名が参加。都合9名で17時過ぎまで各自咽を披露する。メンバーが変わると、曲が変わって楽しい。斎木さんにフレーズを代えて歌う新しい歌い方を教えて頂く。楽しい時間があっという間に過ぎ去る。3次会は、斎木さん、山下君、正井さん、樫原の4名でよく大阪主張で昼食を摂った食堂街の2階にあるここ家(鉄ぱん居酒屋)で20時過ぎまで懇親を深める。ここで、斎木さんから急遽私が宿泊する東横インに泊まり付き合っただけとの情報を伺いする。斎木さんの真心に感謝で一杯となる。仕上げは4名で阪急三番街店にある「うどん兔麦」で斎木さんからご馳走になる。20時半過ぎ解散する。私と斎木さんは新大阪の東横インに移動し、入浴後1時間程度懇談する。就寝は23時50分頃となる。充実した一日を過ごす。



大阪駅



大阪フコク生命ビル

## 第2節 2日目：9月5日（日）：大阪環状線 晴れ

大阪（8:26）～福島（8:52）～野田（9:16）～西九条（9:36）～弁天町（10:14）～  
大正（10:52）～芦原橋（10:17）～今宮（11:30）～新今宮（11:45）～  
天王寺（12:13）～寺田町（13:17）～桃谷（13:34）～鶴橋（13:49）～  
玉造（14:07）～森ノ宮（14:26）～大阪城公園（14:42）～京橋（15:02）～  
桜ノ宮（15:44）～天満（16:06）～大阪（16:35）

二日目の9月5日（日）、5時過ぎに起床し、本日の大阪環状線の踏破について色々研究する。大阪から反時計回り（内回り）にするか時計回り（外回り）にするか非常に迷う。齋木さんが大阪環状線の時計回りで踏破したとのことだったので、新たな挑戦も兼ね福島を第一歩とする反時計回りに決める。運良く、手帳には反時計回りによる駅名を転記していた。地図（13万分の1）は概略であったので、大阪環状線の駅名が所々やっとわかる程度。デザインの関係もあり、その他の鉄道関連等の識別は困難な状況であった。あとは大学時代等の過去の経験を信じることにした。7時に齋木さんとロビーで朝食を一緒に摂る。30分程度朝食を囲み懇談する。齋木さんの自製のラッキョウを御馳走になる。朝食でお別れしたのにも関わらず、ロビーのところまで義理人情に厚い齋木新副会長（関西桜紫会）に送って頂く。齋木さんの人柄に改めて感服する。信任の厚さを改めて感じる。ロビーで記念写真を撮ってもらい別れる。7時57分、東横インを後にする。ホテル前で外国女性に道を聞かれる。不案内のため、齋木さんに助けてもらい、ホテルを後にする。

JR線に沿った道を歩き、新大阪駅前には8時2分到着。新幹線口のコインロッカー（502:300円）に預ける。160円の切符を購入し、大阪まで移動する。姫路駅と相生駅の間にある網干（あぼし）行の電車もあった。大阪駅には8時26分到着する。駅前でフコク大阪ビル等を撮影し、福島駅に向けて歩く。本日登場する19の大阪環状線の駅名は下記の通り。

大阪（0km） → 福島（1.0） → 野田（2.4） → 西九条（3.6） → 弁天町（5.2）  
→ 大正（7.0） → 芦原橋（8.2） → 今宮（8.8） → 新今宮（10.0） →  
天王寺（11.0） → 寺田町（12.0） → 桃谷（13.2） → 鶴橋（14.0） →  
玉造（14.9） → 森ノ宮（15.8） → 大阪城公園（16.7） → 京橋（17.5） →  
桜ノ宮（19.3） → 天満（20.1） → 大阪（21.7）



大阪駅前



福島までの道のりは、昨年3月東海道本線踏破の時に歩いたので非常に風景を堪能しながら歩く。途中バスターミナルや梅三小路もあった。本日最初の福島駅には8時52分到着する。地下道を通りJR東西線を越える。空色の松橋という陸橋に沿って大阪環状線の左側（9時7分）を歩く。大阪城が入ったマンホールの写真も撮る。地下鉄千日前線の玉川駅前を9時18分通過。その先に大通りに面して野田駅（9時19分）があった。



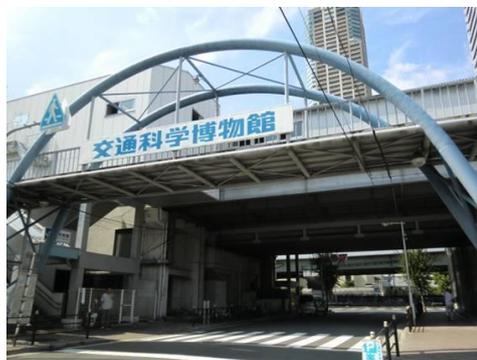
福島駅



野田駅

京都のような駅名である西九条駅には9時36分到着。如何にも環状線らしく鉄道は円形を描きながら続いていた。弁天島駅への道のり安治川に遮られる。迂回を余儀なくされる。空色の橋を渡り、安治川（124歩：陸橋は550歩あり）を渡る。橋向うには3棟の高層ビルがあった。ここで齋木さんから昨日教えて頂いた地下橋を思い出す。残念ながらユニークな橋を通過できず。橋を渡ると波除公園内にある市岡新田会所跡（10時5分）があった。弁天島駅には10時14分到着。この駅に面して交通科学博物館があった。また、JR線の右側にはシュロ等の並木路があった。この数百メートル続く木々の遊歩道は熱くなりかけた

体を冷やしてくれた。天王寺駅への道があった。大阪港への道路標識もあった。ここで大きく左折し直進する。



弁天町駅



弁天町駅前遊歩道

10時44分、大阪ドーム前を通過。意外に大阪駅から離れているので驚いた。128歩ある岩崎橋を渡る。橋を渡った先に大正駅（10時52分）があった。人の出入りの多い駅であった。146歩ある大浪橋（11時1分）を渡る。南海電車（汐見橋線）の踏切を渡る。芦原駅には11時17分到着。難波始発の関西本線（大和路線）の鉄道が道路下から登場する。不安になり通行人に聞く場面もある。今宮駅には11時30分に到着。南海電車が合流する新今宮駅には11時45分到着。ここでJR線の確固たる新今宮駅名を求めて、この駅の回りを10分位かけて一周する。残念ながら見つからず。近くに阪堺電車の南霞町駅や御堂筋線の動物園前駅（12時1分）があった。



大阪ドーム



大正駅



大浪橋



芦原橋駅



今宮駅



東京の新宿駅に対応する天王寺駅には 12 時 13 分到着。12 時 22 分、駅舎の中にある南海そばで大好物のかき揚げそばを食べる。この駅舎ビル (MIO) で 10 分程トイレ休憩する。冷房がよく聞いて熱くなりかけた体を冷やしてくれた。



ここから誤って国道 25 号線に沿った奈良方面に進む。この国道は小角君の実家への道と  
のことを後日教えてもらう。阪和線はうまく交わしたのだが。奈良に続く関西本線まで  
には気配りできなかった。詳しい鉄道地図を持参していなかったのが敗因。高松西（阿倍野  
区天王寺町南）や高松の地名（12 時 50 分）を目にする。30 分程度ロスするが、故郷にあ  
る地名と対面できてよかった。何人もの人に道を聞きながら、やっとリカバリーし寺田町  
駅には 13 時 17 分に到着できる。



少し放心状態であったため、首に巻いていた濡れタオルのロストを 13 時半頃まで気がつ  
かず。幸なことにここからビルの谷間や商店街が多かったため助かった。当社の小角君の  
高校が近くにあったという桃谷（ももだに）駅には 13 時 34 分到着。駅前にはアケードが  
ある商店街もあった。



桃谷駅



鶴橋駅

近鉄線や千日前線が合流する鶴橋駅には 13 時 49 分到着。正に大阪食い道楽の町を象徴する風景を満喫できる。7 から 8 百m続く玉造日之出通商店街（道路幅 3 m 位のアケード通り）を通り、玉造駅に向う。歩く歩道はカラフルのレンガ通りであった。商店街は日曜日であったこともあり、3分の2程度シャッターが降りていた。商店街は通常ならばエアコンの風で涼しいのであるが、店が沢山閉まっていた関係で熱かった。非常に寂しい思いとなる。大阪までも不況の波が押しかけていることを肌身を感じる。この商店街を抜けた先に玉造駅（14 時 7 分）があった。駅前には多数の自転車が止められていたが、ひっそりとしていた。JR 線の右に出て直ぐ左に戻る。地下鉄中央線も通る森ノ宮駅には 14 時 22 分到着。



玉造駅

40 歳位の男性のジョギング姿があった。いい汗をかいていた。14 時 26 分、森ノ宮駅から少し行った先で大阪城を遠くに見つける。暫く JR 線の左側を歩いた先で、大阪城公園（14 時 30 分）に入る。心地よい風を感じる。秋の気配を感じる木々が沢山あった。公園ではジョギング、吹奏楽団の練習、それから運動会の準備等をしている学生の姿があった。公園

を遊覧する 3 両編成のバスもあった。



森ノ宮駅



大阪城公園

公園を通り過ぎた先に緑の屋根の駅舎をもつ大阪城公園駅（14 時 42 分）があった。この駅は年金時代大阪出張の際利用した駅なので非常に愛着を感じた。数年前の懐かしい日々が次々思い出される。第二寝屋川を渡った先に住友生命プラザビル（ペンションサービス）があった。14 時 57 分、98 歩ある寝屋川（玉造筋）を渡る。丁度右手にある陸橋を環状線電車が通過して行く。橋を渡った先に京橋駅（15 時 2 分）があった。片町線側の駅舎に立ち寄ったため、環状線に戻るのに大回りする。それよりも京橋駅前が寂しいので驚いた。恐らく環状線側は賑やかな駅前であろう。男女の銅像があり、「平和よ永遠なれ」のメッセージが刻まれていた。ここれも迷いそうになったので何人もの応援を得てリカバリーする。15 時 7 分、片町線の新喜多踏切を横切り、環状線の京橋駅近郊に戻り、京橋商店街を歩く。この商店街は玉造の商店街に比べ活気があった。ほっとする。商店街を通ったため、環状線から大きく離れる。



大阪城公園駅



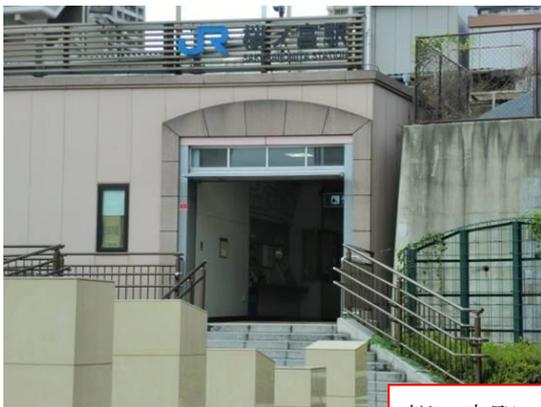


ジャパンペンションサービス



京橋駅

15時36分、やっとのことで環状線の線路を発見し、線路下を潜り鉄道の左側に出る。桜ノ宮駅には15時44分到着。15時50分、源八橋（げんぱち：327歩）を渡る。この橋からも大阪城が一望できる。人通りが多い天満駅には16時6分到着。扇町公園北通を通り大阪駅を目指す。途中、フコク生命ビル（16時30分）前に立ち寄り種々のアングルから写真を撮る。グリーン系の非常に洒落たビルであった。終点大阪駅には16時35分到着。ここでの万歩計は46,527であった。この万歩数を本日の統計値とする。



桜ノ宮駅



天満駅



大阪フコク生命ビル 大阪駅

16時47分発の野洲行の新快速に乗り、新大阪駅へ。新大阪17時47分発の新幹線（のぞみ250号、11号車2番A席）で新横浜へ。新幹線内で駅弁（山海わっぱ）を食べながらビールで一息をつく。お世話になった斎木さんから3回も携帯による連絡が入っていた。大阪環状線は川が多いのに驚いた。また、橋がつく駅名が多いのにも驚いた。芦原橋、鶴橋、京橋、天満橋、淀屋橋、心斎橋、長堀橋、日本橋しかり。大阪の町の概略を理解する上で大いに勉強になった。同時に関西方面の鉄道踏破への挑戦意欲も与えてくれた。家族のお土産に生八橋を購入。楽しい充実した二日間であった。自宅には21時10分到着。